

短期派遣 EUROPA 派遣報告書

氏名：藤井欣子

派遣先：オーストリア・グラーツ大学現代史研究所

派遣期間：2010年11月1日～2011年3月31日（5ヶ月）

研究の概要

筆者の研究テーマは、世紀末転換期(具体的には1880年代から第一次世界大戦前までの)の多民族国家ハプスブルク帝国内の領邦シュタイアーマルクにおける自由主義とドイツ国民主義との関係を、歴史的に明らかにしようとするものである。そのため、博士論文では当該地域において自由主義を標榜していたドイツ国民主義的な協会団体をいくつか取り上げ分析する。筆者はこれまで、修士論文においては都市部で活動していたズートマルク協会(Sudmark)を、続いて農村部で活動していたキリスト教農村同盟(Christlicher Bauernbund)を扱ってきたが、今回の短期派遣EUROPAの派遣調査によって、マールブルク周辺地域農民協会(Bauernverein Umgebung Marburg)を、新たな比較対象としてつけ加えることができた。同協会が活動していたのはシュタイアーマルクの南部で、ドイツ系住民とスロヴェニア系住民が混住している所謂「言語境界地域」である。マールブルク周辺地域農民協会の中心を担ったのは、マールブルク近郊に土地を持つドイツ系の農民たちであった。この協会を上述の2つの協会と並べて分析することにより、都市部、農村部、言語境界地域と、それぞれ異なる地域的特性における自由主義の発現の仕方を明らかにできるのではないかと考えている。

従来のオーストリア史研究によれば、1879年の帝国議会選挙で大敗を喫した自由主義派は政治の表舞台から退場したと説明された。しかしこの説は1990年代の初頭、アメリカの研究者ジャドソンによって否定された。ジャドソンによると、自由主義派は中央から地方へと広がりドイツ系住民の国民主義的感情と結びついて生き残ったというのである。彼は自由主義の文化的側面に注目し、これを「教養や財産に価値を置く都市のブルジョワたちの信条および世界観」とであると定義した。そして、ボヘミアで活動していた諸協会を取り上げ、こういったブルジョワ的世界観から作り出された自由主義的言説がいかに地方では国民主義と結びつけられたかを協会機関誌などを用いて論じた。彼の研究によれば、地方の住民たちの間では複数言語を好む傾向が強く、自由主義的かつ国民主義的な価値観(たとえば単一言語での学校教育など)を押しつけるような活動に対して否定的な反応が多かったという。では、実際の協会活動は、地域住民たち不在のまま行われていたのだろうか。筆者の関心は、地方の住民たちが自由主義派の協会活動にいかにコミットしていたかという点にある。

今回の派遣調査の対象となったマールブルク周辺地域農民協会は、複数言語が好まれる地方における自由主義派たちの活動を示すものである。ドイツとスロヴェニアとの間の「言語境界」と呼ばれた当該地域は双方の国民主義的主張の角逐の場となったが、同地域で活

動したこの協会はいかなる言説を用いて住民を結集しようとしていたのか。同協会の分析を行うことは、筆者の博士論文の中の重要な論点である「地方におけるドイツ系自由主義者による住民の国民主義的動員」を考える上で実証的な例となるだろう。

研究のプロセス

今回の派遣調査は5ヶ月にわたって行なった。まず11月は到着してすぐに現代史研究所のコンラート教授と面談し、現在の研究進捗状況を報告した。そこで毎週ひらかれる論文執筆者のためのゼミに参加することになり、最終週には筆者も報告する機会を得た。そのため、11月はこのゼミ報告の準備と二次文献の収集を中心に行なった。

12月から3ヶ月間はシュタイアーマルク州立文書館に通って、マールブルク周辺地域農民協会の史料を筆写・収集した。県知事がシュタイアーマルク総督に宛てた報告書ファイルを中心に読み進め、協会規約やパンフレット、官報等も入手した。(別表の文献1~7参照)これらは古い筆記体(Kurrent)で書かれていたため非常に読むのが難しく、文書館司書や周囲の研究者たちに何度も助けていただいた。3月は、読み進めている史料の社会的な背景を補うために、シュタイアーマルク州立図書館やメディアテークにて官報と地方新聞の収集を行なった。(文献8,9)

二次文献の収集は全期間を通して、グラーツ大学図書館、メディアテーク、シュタイアーマルク州立文書館などで行った。大別すると、中欧における自由主義と国民主義の問題に関するもの(別表の文献12, 20, 34)、シュタイアーマルクの歴史や文化に関するもの(文献13, 24, 26, 28, 29, 36)、シュタイアーマルク領邦議会の歴史や制度に関するもの(文献15, 32, 35)、シュタイアーマルクの行政制度に関するもの(文献17, 25, 31)、シュタイアーマルクにおける各種協会活動に関するもの(文献14, 18, 19, 37)、グラーツ市の歴史や文化に関するもの(文献16, 21, 23)、などである。

研究の成果

マールブルク周辺地域農民協会は、そもそもシュピールフェルト農民協会として1874年に設立されたのが1884年に規約を変更し、ドイツ国民主義的な協会へと生まれ変わったものであった。1884年の規約の第一条には「協会の目的」として、1)農民階級の物質的精神的利益の保護と促進、2)憲法に基づく農民階級の政治的権利の保護、を謳っている。

同協会は、3~4ヶ月に1度開かれる移動集会を主な活動の場としており、こうした集会には県庁の役人が監視役として出席することになっていた。彼らの報告書から、以下のような協会の活動の様子が明らかになった。

マールブルク周辺地域農民協会の移動集会は、南部のみならずシュタイアーマルク全域の各都市で開かれ、200~300名の農民を集めた。移動集会においては数名が講演を行ったが、招待される講演者にはドイツ系の国民主義派の政治家ヴェレンホーフやシェーネラーらがいた。たとえばシェーネラーは、1886年2月にマーレンベルク(Mahrenberg/Radlje ob Dravi)で開かれた集会において、農民の経済的窮状を救うために農民向けの小住宅の設置や福祉法の公布を求めている。彼のようなドイツ語話者による講演はドイツ語のままだった

が、その他の開会の辞や活動報告などはドイツ語とスロヴェニア語の二言語で行われていた。このような集会には、ドイツ国民主義派の政治家をはじめ、上オーストリアやケルンテンなど他地域の農業者団体代表者なども招かれていた。一般の出席者のほとんどは土地所有者だったが、学生団体所属の学生や小売業者などもいた。中には多数のスロヴェニア系農民も出席していたと報告されている。同協会は移動集会の他に、ユダヤ人のオーストリアへの流入を阻止する法律を求める請願運動(1886年)や、農民の土地を分割して売却する金融機関に対する抗議と調査依頼(1887年)などを行った。

マールブルク周辺地域農民協会の特徴としては、強力な反ユダヤ主義が挙げられよう。この点にはやはり名誉会員でもあったシェーネラーの影響力が大きかったと考えられる。協会は、各地の支部代表者たちに「行動指針書」なる小冊子を配布して、帝国議会や領邦議会から市町村議会、教育委員会などに協会会員が選ばれるよう努力することなどを義務づけていたが、ここに「弁護士とユダヤ人はいかなる条件においても(協会に)受け入れられない」と明記したため、シュタイアーマルク弁護士協会から抗議を受けた。弁護士協会は総督府へ苦情を訴えたため、これをきっかけとした当局命令によりマールブルク周辺地域農民協会は1888年12月に解散させられた。

今後の課題

県知事報告書からは、移動集会において当然のように二言語が使用されていた様子が見えてくる。このような「言語境界地域」では、ドイツ系でもなくスロヴェニア系でもない「ユダヤ人」が共通の敵としての役割を負ったのではないか。マールブルク周辺地域農民協会の激しい反ユダヤ主義的言説に関して、このような視点からもっと社会的背景などを掘り下げて見ていきたい。

この県知事報告書は、移動集会に関してたとえば講演者の使った用語やフレーズがそのまま引用されたり、集会の最後が皇帝への万歳三唱で締められたといった記述があったりとたしかに臨場感あふれるものではあるが、協会の発表した活動報告の詳細な内容や集会の議事録などについての記載は完全ではない。このような事実をふまえて、今後は新聞や官報など別の史料を使って、選挙の際の様子や移動集会に対する会員以外の人々の反応など、報告書の情報に肉付けをしていきたい。

今回の派遣調査では、検閲する側の記した史料(県知事報告書)を中心に検討した。しかし記録によると1888年からは二言語で出版すると宣言されていた「農民協会報(Bauernvereinsbothe)」という機関誌が存在することになっている。これは、今のところウィーンの国立図書館にも所蔵されておらず全く所在が分からない状態であるが、引き続き調査していきたい。

最後に、同協会についての分析は一つの論文としてまとめて、発表の場を持ちたいと考えている。

参考文献

1 県知事報告書

Statth. 53-16079/ 1873. (規約に関する報告など)

Statth. Pras.9-150/ 1887. (反ユダヤ移民法や土地転売に関する報告など)

Statth. Pras.5-Va-540/ 1886. (移動集会に関する報告など)

2 官報

Versammlungsgesetz 15/ Reichsgesetzblatt Nr. 135, November 1867.

規約・協会パンフレット

3 Satzungen des Bauern-Vereines in Spielfeld, 1873.

4 Satzungen des Bauernvereines Umgebung Marburg, 1884.

5 Bauern-Verein "Umgebung Marburg", Vollzugs-Vorschriften für die Herren Vertrauensmänner des Bauern-Vereines "Umgebung Marburg" in Steiermark, Bruck a.d. Mur, 1886.

新聞

6 Grazer Zeitung, 01.02.1884~12.31.1889.

7 Marburger Zeitung, 01.02.1884~07.28.1889.

博士・学士論文

8 Mahmood, Amire, Der steirische Landtag (1861-1918). Unter besonderer Berücksichtigung seiner Leistungen auf dem Gebiet der Förderung der materiellen Landeskultur, Diss. Univ. Graz, 1991.

9 Reithofer, Angelika, Historische Umbrüche im Spiegel der Presse am Beispiel von Marburger Zeitung und Grazer Tagblatt. vom September 1918 bis zum Marburger Bluttag. Ein Vergleich, Diplom. Univ. Graz, 1994.

二次文献

10 Auer, Stefan, Liberal Nationalism in Central Europe, London/New York, 2004.

11 Burger, Ernst, Riegler, Josef, Hundert Jahre Steirische Landesstatistik, Veröffentlichungen des steiermarkischen Landesarchives, Band 19, Graz, 1993.

12 Burkert, Gunther, "Karl Friedrich von Rokitsky und sein "Christlicher Bauernbund"", Steirischer Bauernkalender, 1983, S.51-56.

13 Burkert, Gunther R, Landesfürst und Stande. Karl V., Ferdinand I. und die österreichischen Erbländer im Ringen um Gesamtstaat und Landesinteressen, Forschungen und Darstellungen zur Geschichte des Steiermarkischen Landtags,

Graz, 1987.

- 14 Fuks, Evi, *Minhag Styria. Jüdisches Leben in der Steiermark*, Graz, 2005.
- 15 Grundler, Johannes (Hgg.), *100 Jahre Bezirkshauptmannschaften in Österreich. Festschrift im Auftrage der österreichischen Bundesländer*, Wien, 1970.
- 16 Harrer, Hilde, *Grazer Radfahrvereine 1882-1900. Ein Beitrag zur Geschichte des steirischen Radfahrwesens*, Graz, 1998.
- 17 Haslinger, Peter (Hg.), *Schutzvereine in Ostmitteleuropa. Vereinswesen, Sprachenkonflikte und Dynamiken nationaler Mobilisierung 1860-1939*, Marburg, 2009.
- 18 Heindl, Waltraud, *Gehorsame Rebellen. Bürokratie und Beamte in Österreich 1780 bis 1848*, Studien zu Politik und Verwaltung, Bd.36, Wien/Köln/Graz, 1991.
- 19 *Historisches Jahrbuch der Stadt Graz*, Bd. 27/28, Graz, 1998.
- 20 Hosler, Joachim, *Von Krain zu Slowenien. Die Anfänge der nationalen Differenzierungsprozesse in Krain und der Untersteiermark von der Aufklärung bis zur Revolution 1768 bis 1848*, München, 2006.
- 21 Hubbard, William H., *Die Entwicklung der Grazer Stadtverfassung 1869 - 1918*, in: *Das historische Jahrbuch der Stadt Graz*, Bd. 4, Graz, 1971, S. 7 - 46.
- 22 Jontes, Gunter, *Die Grune, die Eherne Mark. Eine kurze Fassung der langen Geschichte der Steiermark*, Trautenfels, 2006.
- 23 Mell, Anton, *Grundris der Verfassungs- und Verwaltungsgeschichte des Landes Steiermark*, Graz/ Wien/ Leipzig, 1929.
- 24 Moll, Martin, "Heimatfront Steiermark ". Ein gemischtsprachiges Kronland in ersten "totalen Krieg " in: Hermann J. W. Kuprian / Oswald Uberegger (Hgg.), *Der Erste Weltkrieg im Alpenraum. Erfahrung, Deutung, Erinnerung*, Innsbruck, 2006.
- 25 Naschenweng, Hannes P., *Die Landeshauptleute der Steiermark 1236 - 2002*, Graz, 2002.
- 26 Pferschy, Gerhard (Hg.), *Evangelisch in der Steiermark. Glaubenskampf-Toleranz, Brüderlichkeit*, Ausstellungsführer, Graz, 1981.
- 27 Pickl, Othmar (Hg.), *Beiträge zur Geschichte der Industrialisierung des Sudostalpenraumes im 19. Jahrhundert*, Forschungen zur geschichtlichen Landeskunde der Steiermark, XXIV. Band, Graz 1970.
- 28 Posch, Fritz, "Abschnitt Steiermark. Geschichte der Verwaltung in den einzelnen Bundesländern" in: Johannes Grundler (Hgg.), *100 Jahre Bezirkshauptmannschaften in Österreich. Festschrift im Auftrage der österreichischen Bundesländer*, Wien, 1970, S.61-71.
- 29 Posch, Fritz (Hg.), *Atlas zur Geschichte des steirischen Bauerntums*, Graz, 1976.
- 30 Posch, Fritz, *Geschichte des Verwaltungsbezirkes Hartberg. Erster, allgemeiner*

Teil, 2. Teilband von 1848 bis zur Gegenwart, Graz/ Hartberg, 1978.

31 Rack, Reinhard (Hg.), Landesverfassungsreform, Studien zu Politik und Verwaltung, Bd.3, Wien/Koln/Graz, 1982.

32 Rahten, Andrej, "Die Lueger-Partei auf Slowenisch. Die Entstehungsgeschichte des slowenischen politischen Katholizismus", Zeitgeschichte 4, 37. Jahrgang, 2010, S.193-212.

33 Reinalter, Helmut, Klueting, Harm (Hgg.), Der deutsche und osterreichische Liberalismus. Geschichts- und politikwissenschaftliche Perspektiven im Vergleich, Innsbrucker Historische Studien, 26. Band, Innsbruck, 2010.

34 Riegler, Josef, Landtag Steiermark. Geschichte und Gegenwart, Graz, 2008.

35 Straka, Manfred, Verwaltungsgrenzen und Bevölkerungsentwicklung in der Steiermark 1770 - 1850, Erläuterungen zur ersten Lieferung des Historischen Atlases der Steiermark, Forschungen zur geschichtlichen Landeskunde der Steiermark, XXXI. Band, Graz 1978.

36 Zettelbauer, Heidrun, Die Liebe sei Euer Heldentum. Geschlecht und Nation in volkischen Vereinen der Habsburgermonarchie, Frankfurt am Main, 2005.

37 Zimburg, Heinrich, Die Letzte Fahrt der Pferdepost nach Bad Gastein und die Eröffnung der Nordrampe der Tauernbahn im Jahre 1905, Sonderdruck aus dem Bad Gasteiner Badeblatt, Nr. 37, 38, 39, 40, Bad Gastein, 1955.